

積算基準及び歩掛表(その1)

工種名

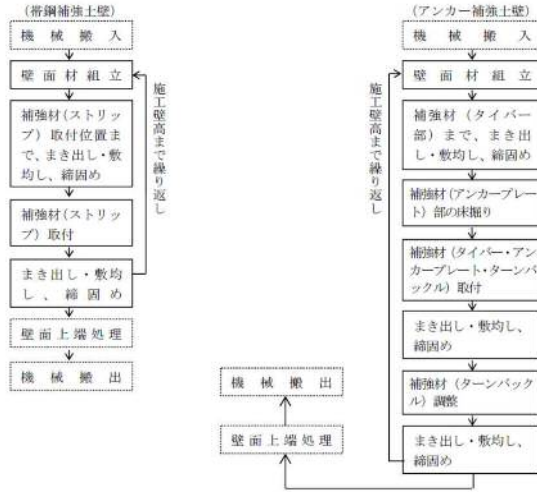
第Ⅱ編 共通工 第2章 共通工 ⑦-2補強土壁工(帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁)

誤

正

2. 施工概要

施工フローは下記のとおりとする。



(注) 本歩掛に対応しているのは、実務部分のみである。

3. 機種を選定

壁面材組立、まき出し・敷均し、締めめに使用する機械・規格は、次表を標準とする。

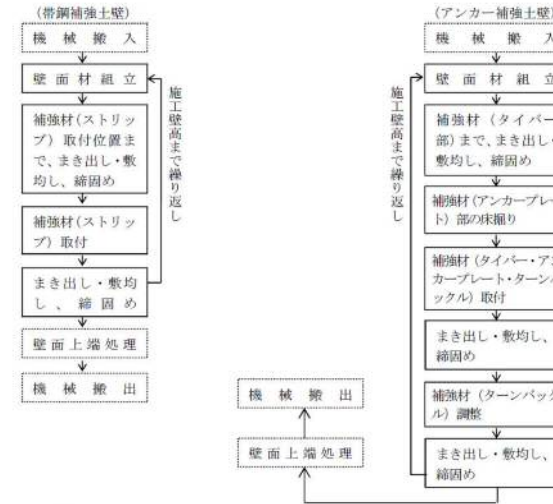
表 3.1 機種を選定

作業種別	標準機種				
	機械名	規格	単位	数量	摘要
壁面材組立	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 25t吊	台	1	(注)1、2
	バックホウ(クローラ型)	標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5㎡(平積0.4㎡) 吊能力2.9t	〃	1	(注)1
まき出し・敷均し	バックホウ(クローラ型)	標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5㎡(平積0.4㎡) 吊能力2.9t	〃	1	〃
	ブルドーザ	湿地・排出ガス対策型(第2次基準値) 7t級	〃	1	〃
締めめ	振動ローラ(舗装用)	搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値) 3~4t	〃	1	〃

(注) 1. ラフテレーンクレーン・バックホウ・ブルドーザ・振動ローラは、賃料とする。
2. 現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。

2. 施工概要

施工フローは下記のとおりとする。



(注) 本歩掛に対応しているのは、実務部分のみである。

3. 施工パッケージ

3-1 補強土壁壁面材組立・設置

- (1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表 3.1 補強土壁壁面材組立・設置 積算条件区分一覧

工法区分
帯鋼補強土壁(1)
帯鋼補強土壁(2)
アンカー補強土壁

- (注) 1. 上表は、補強土壁工(帯鋼補強土壁(1)・帯鋼補強土壁(2)・アンカー補強土壁)の壁面材の組立・設置、水平目地材、透水防砂材、ボルト・ナットの設置の他、クランプ、定規、ワイヤ、吊金具、カップター、くさび、スペーサー、角材、支柱等の費用、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、補強土壁壁面材(材料費)は含まない。
2. 補強土壁壁面材の材料費は別途計上する。
3. 基礎コンクリートについては、「第Ⅱ編第4章④コンクリート工」により別途計上する。
4. 現場条件により表3.2に示す代表機械の規格により難い場合は、別途考慮する。
5. 配水管が必要な場合は別途計上する。
6. 足場が必要な場合は別途計上する。

積算基準及び歩掛表(その1)

第Ⅱ編 共通工 第2章 共通工 ⑦-3補強土壁工(帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁)

誤

4. 施工歩掛

4-1 壁面材組立・設置工
壁面材組立・設置工歩掛は、次表を標準とする。

表 4.1 壁面材組立・設置工歩掛 (100㎡当り)

名 称	単 位	組 立・設 置 工		
		帯鋼補強土壁		アンカー補強土壁
		帯鋼補強土壁 (1)	帯鋼補強土壁 (2)	
土 木 一 般 世 話 役	人	1.0	1.0	1.5
特 殊 作 業 員	〃	1.0	1.0	1.5
普 通 作 業 員	〃	2.1	2.0	3.1
ラフテレーンクレーン運転	日	0.5	0.5	0.5
バックホウ(クローラ型)運転	〃	2.0	1.9	2.5
諸 雑 費 率	%	10	9	8

(注) 1. 壁面材組立・設置工歩掛には、水平目地材、透水防砂材、ボルト・ナットの設置歩掛を含む。
2. 諸雑費は、クランプ、定規、ワイヤ、吊金具、カップラー、くさび、スパーサー、角材、支柱等の費用であり、労務費、機械賃料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
3. 基礎コンクリートについては、「第Ⅱ編第4章①コンクリート工」により別途計上する。
4. ラフテレーンクレーン・バックホウは、賃料とする。

4-2 補強材取付工
補強材取付工歩掛は、次表を標準とする。

表 4.2 補強材取付工歩掛 (100㎡当り)

名 称	単 位	取 付 工		
		帯鋼補強土壁		アンカー補強土壁
		帯鋼補強土壁 (1)	帯鋼補強土壁 (2)	
土木一般世話役	人	0.11	0.11	0.17
特殊作業員	〃	0.11	0.11	0.17
普通作業員	〃	0.22	0.22	0.52

(注) 壁面材と補強材の結合作業を含む。
また、アンカー補強土壁においては、ターンバックルの設置・調整を含む。

4-3 まき出し・敷均し、締固め工
まき出し・敷均し、締固め工歩掛は、次表を標準とする。

表 4.3 まき出し・敷均し、締固め工歩掛 (100㎡当り)

名 称	単 位	まき出し・敷均し、締固め工		
		帯鋼補強土壁		アンカー補強土壁
		帯鋼補強土壁 (1)	帯鋼補強土壁 (2)	
土 木 一 般 世 話 役	人	0.51	0.43	0.51
特 殊 作 業 員	〃	0.40	0.28	0.40
普 通 作 業 員	〃	0.83	0.73	0.83
バックホウ(クローラ型)運転	日	0.23	0.21	0.23
ブルドーザ運転	〃	0.29	0.25	0.29
振動ローラ(舗装用・コンパインド式)運転	〃	0.29	0.24	0.29
諸 雑 費 率	%	3	3	3

(注) 1. 本歩掛範囲は、壁面上端までと補強材後部までの盛土を対象とする。
2. 諸雑費は、振動ローラ(舗装用・ハンドガイド式)、タンバの運転経費等の費用であり、労務費、機械賃料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
3. バックホウ・ブルドーザ・振動ローラは、賃料とする。

正

(2) 代表機劣材規格
下表機劣材は、当該施工パッケージで使用されている機劣材の代表的な企画である。

表 3.2 補強土壁壁面材組立・設置 代表機劣材規格一覧

項目	代表機劣材規格	備考
機械	K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型(第2次基準値)] 7t級	賃料
	K2 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.5m3(平積0.4m3)吊能力2.9t	賃料
	K3 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンパインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量3~4t	賃料
労務	R1 運転手(特殊)	
	R2 普通作業員	
	R3 土木一般世話役	
	R4 特殊作業員	
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油	
	Z2 -	
	Z3 -	
	Z4 -	
市場単価	S -	

5-2 補強土壁壁面材(材料費)

(1) 条件区分
補強土壁壁面材(材料費)における積算条件区分はない。
積算単位は、㎡とする。
(注) 材料費には、水平目地材、透水防砂材、ボルト・ナット等を含む。

5-3 補強材取付

(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表 3.3 補強材取付 積算条件区分一覧 (積算単位: m)

工法区分
帯鋼補強土壁 (1)
帯鋼補強土壁 (2)
アンカー補強土壁

(注) 1. 上表は、補強土壁工(帯鋼補強土壁(1)・帯鋼補強土壁(2)・アンカー補強土壁)の補強材の取付け、結合作業の他、アンカー補強土壁におけるターンバックルの設置・調整等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、補強材(材料費)は含まない。
2. 補強材の材料費は別途計上する。

積算基準及び歩掛表(その1)

工 種 名

第Ⅱ編 共通工 第2章 共通工 ⑦-4補強土壁工(帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁)

誤

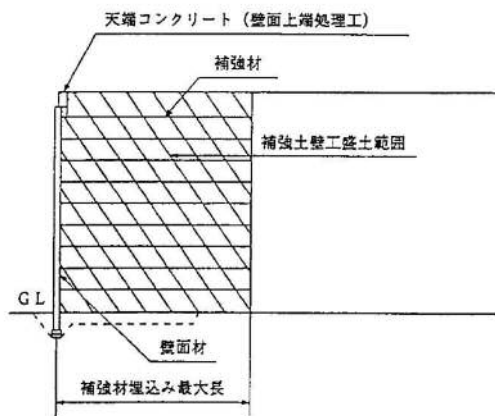
正

4-4 排水管布設工
排水管布設工を施工する場合は、「第Ⅱ編第2章⑨排水構造物工」暗渠排水管により別途計上する。

4-5 壁面上端処理工
壁面上端処理を施工する場合は、下記による。

- ① コンクリート工
「第Ⅱ編第4章①コンクリート工」により別途計上する。
- ② 型枠工
「第Ⅱ編第4章②-1型枠工」により別途計上する。
- ③ 鉄筋工
鉄筋工は、「第Ⅵ編第1章①-1 鉄筋工(太径鉄筋含む)」により別途計上する。
(注) 天端コンクリート施工等の足場については、別途考慮する。

[参考図]



補強土壁標準断面図

(2) 代表機労材規格
下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な企画である。

表 3. 4 補強土壁壁面材組立・設置 代表機労材規格一覧

項目	代表機労材規格	備考
機械	K 1	-
	K 2	-
	K 3	-
労務	R 1	普通作業員
	R 2	土木一般世話役
	R 3	特殊作業員
	R 4	-
材料	Z 1	-
	Z 2	-
	Z 3	-
	Z 4	-
市場単価	S	-

3-4 補強材(材料費)

(1) 条件区分
補強材(材料費)における積算条件区分はない。
積算単位は、mとする。
(注) 材料費には、アングル、ターンバックル、アンカープレート等を含む。

3-5 まき出し・敷均し、締固め

(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 5 まき出し・敷均し、締固め 積算条件区分一覧
(積算単位:m3)

工法区分
帯鋼補強土壁(1)
帯鋼補強土壁(2)
アンカー補強土壁

(注) 1. 上表は、補強土壁工(帯鋼補強土壁(1)・帯鋼補強土壁(2)・アンカー補強土壁)のまき出し・敷均し、締固めの他、振動ローラ(舗装用・ハンドガイド式)、タンバの運転経費等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。
2. 施工量の範囲は、壁面上端までと補強材後部までの盛土を対象とする(参考図参照)。
3. 現場条件により表3. 6に示す代表機械の規格により難い場合は、別途考慮する。

積算基準及び歩掛表(その1)

第Ⅱ編 共通工 第2章 共通工 ⑦-5補強土壁工(帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁)

誤 正

5. 内訳書及び単価表

(1) 補強土壁工(帯鋼補強土壁(1)・帯鋼補強土壁(2)・アンカー補強土壁)内訳書

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
壁面材組立・設置工		m ²		単価表(2) WB222210
補強材取付工		m	# (3)	WB222220
まき出し・敷均し、 締 固 め 工		m ²	# (4)	WB222230
コンクリート工		#		(注)1. 第Ⅱ編第4章①コンクリート工により計上
鉄 筋 工		t	#	第Ⅵ編第1章①鉄筋工(太径鉄筋含む)により計上
型 枠 工		m ²	#	第Ⅱ編第4章②-1型枠工により計上
排水管布設工		m		(注)2. 必要に応じて第Ⅱ編第2章⑩排水構造物工により計上 C B222770, C B222780
計				

- (注) 1. 壁面上端処理が必要な場合は別途計上する。
 2. 排水管布設工が必要な場合は別途計上する。
 3. 足場が必要な場合は別途計上する。

(2) 壁面材組立・設置工100㎡当り単価表

施工歩掛コード	WB222210
---------	----------

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表 4.1
特殊作業員		#		#
普通作業員		#		#
壁 面 材		m ²	100	
ラフデレンクレーン 運 転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)25t吊	日		表 4.1 機械賃料
バックホウ (クローラ型)運転	標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5㎡(平積0.4㎡)吊能力2.9t	#		#
諸 雑 費		式	1	表 4.1
計				

(注) 壁面材には、水平目地材、透水防砂材、ボルト・ナットを含む。

(3) 補強材取付工100m当り単価表

施工歩掛コード	WB222220
---------	----------

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表 4.2
特殊作業員		#		#
普通作業員		#		#
補 強 材		m	100	
諸 雑 費		式	1	
計				

(2) 代表機材規格

下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な企画である。

表 3. 6 まき出し・敷均し、締固め 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	K 1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型(第2次基準値)] 7t級	賃料
	K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)吊能力2.9t	賃料
	K 3 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量3~4t	賃料
労務	R 1 運転手(特殊)	
	R 2 普通作業員	
	R 3 土木一般世話役	
	R 4 特殊作業員	
材料	Z 1 軽油1.2号 バトルール給油	
	Z 2 -	
	Z 3 -	
	Z 4 -	
市場単価	S -	

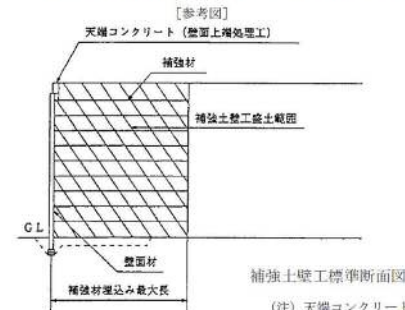
3-6 排水管敷設工

排水管敷設工を施工する場合は、「第Ⅱ編第2章⑩-1排水構造物工」暗渠排水管により別途計上する。

3-7 壁面上端処理工

壁面上端処理を施工する場合は、下記による。

- (1) コンクリート工
 「第Ⅱ編第4章①コンクリート工」により別途計上する。
 (2) 型枠工
 「第Ⅱ編第4章②型枠工」により別途計上する。
 (3) 鉄筋工
 鉄筋工は「第Ⅵ編第2章①-1鉄筋工(太径鉄筋含む)」により別途計上する。



積算基準及び歩掛表(その1)

第Ⅱ編 共通工 第2章 共通工 ⑦-6補強土壁工(帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁)

工 種 名

誤

正

(4) まき出し・敷均し、締固め工 100m²当り単価表

施工歩掛コード	WB22230
---------	---------

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
土木一般世話役		人		表 4.3
特殊作業員		#		#
普通作業員		#		#
バックホウ (クローラ型)運転	標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5㎡(平積0.4㎡)吊能力2.9t	日		# 機械賃料
ブルドーザ運転	湿地・排出ガス対策型(第2次基準値)7t級	#		# #
振動ローラ (舗装用)運転	搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)3~4t	#		#
諸 雑 費		式	1	表 4.3
計				

(5) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
(壁面材組立機械) バックホウ(クローラ型) 〔帯鋼補強土壁(1)〕	標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5㎡(平積0.4㎡)吊能力2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→51 機械賃料数量→1.56
(壁面材組立機械) バックホウ(クローラ型) 〔帯鋼補強土壁(2)〕	標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5㎡(平積0.4㎡)吊能力2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→48 機械賃料数量→1.56
(壁面材組立機械) バックホウ(クローラ型) 〔アンカー補強土壁〕	標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5㎡(平積0.4㎡)吊能力2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→51 機械賃料数量→1.56
(まき出し・敷均し機械) バックホウ(クローラ型) 〔帯鋼補強土壁(1)〕	標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5㎡(平積0.4㎡)吊能力2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→52 機械賃料数量→1.56
(まき出し・敷均し機械) ブルドーザ 〔帯鋼補強土壁(1)〕	湿地・排出ガス対策型(第2次基準値)7t級	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→34 機械賃料数量→1.43
(まき出し・敷均し機械) バックホウ(クローラ型) 〔帯鋼補強土壁(2)〕	標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5㎡(平積0.4㎡)吊能力2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→47 機械賃料数量→1.56
(まき出し・敷均し機械) ブルドーザ 〔帯鋼補強土壁(2)〕	湿地・排出ガス対策型(第2次基準値)7t級	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→33 機械賃料数量→1.43
(まき出し・敷均し機械) バックホウ(クローラ型) 〔アンカー補強土壁〕	標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5㎡(平積0.4㎡)吊能力2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→52 機械賃料数量→1.56
(まき出し・敷均し機械) ブルドーザ 〔アンカー補強土壁〕	湿地・排出ガス対策型(第2次基準値)7t級	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→34 機械賃料数量→1.43
(締固め機械) 振動ローラ(舗装用) 〔帯鋼補強土壁(1)〕	搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)3~4t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→13 機械賃料数量→1.68
(締固め機械) 振動ローラ(舗装用) 〔帯鋼補強土壁(2)〕	搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)3~4t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→13 機械賃料数量→1.68
(締固め機械) 振動ローラ(舗装用) 〔アンカー補強土壁〕	搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)3~4t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→13 機械賃料数量→1.68

廃止